



校長室より



令和5年12月22日

No.19

今日22日（金）、2学期の終業式を迎えました。この2学期は、猛暑の夏をひきずりながら始まり、二学部中3年の修学旅行、高2年の修学旅行、一学部高3年の修学旅行と続きました。11月には最大の行事である文化祭が、アフターコロナの中、家族や卒業生たちにも楽しんでもらいながら開催することができました。強風の中で行った地震津波合同避難訓練、ほんものの音色に聞き入ったミュージック・シェアリング秋のコンサートも印象深い行事でした。また、様々な体験活動も行われました。県立自然博物館の協力による移動博物館や職場体験、職場見学、現場実習と進路関係の取組などもありました。日頃の学習に加えてクラブ活動、生徒会活動、そして、このような特別活動を通して子どもたちは成長していったと思います。これは、日頃からご支援ご協力いただいている保護者の皆様や地域の皆様のおかげと感謝しております。ありがとうございます。

12月12日（火）に、第3回の学校運営協議会がありました。委員の皆さんに2学期の取組をお伝えしたところ、みはまの取組が様変わりしてきていて、一般の方とふれ合う体験やこれまで難しいだろうと思われていた体験も工夫しながらチャレンジする機会をつくらせていると褒めていただきました。うれしいことです。

終業式では、自分の価値あるものをしっかり見つめ、それを大切にすることが人生を豊かにするために必要であるということ子どもたちに伝えました。明日から冬休みに入りますが、今年一年の振り返りをして、自分の頑張ったこと、自分を褒めたいこと、そして今までもこれからも大切にしていきたいことを考えてみてほしいと思います。その中で、あきらめずに挑戦していきたいことや目標がきっと見えてくるはずです。

来年は、日本の暦、六十干支（ろくじっかんし）でいうと「甲辰（きのえたつ）」の年にあたります。これまでの努力が実り、夢がかないやすい年になるとも言われています。60年前の1964年は、アジア初となる東京オリンピックが開催されたり、世界初の高速鉄道「東海道新幹線」が開業したりしました。時代が動くかもしれませんよ。

今年の冬は、暖冬と言われていますが、インフルエンザが大流行していますので、体調には十分に気をつけてください。それではみなさん良いお年をお過ごしください。



高等部ものづくり芸芸・木工班
「干支 辰」（黒竹製品）